

議 長

続いて、高良議員の一般質問を行います。3番高良議員。

3番
高良議員

皆さん、おはようございます。通告順に従いまして、一般質問を行います。この度の質問の要旨は、道路の整備計画を問うものでございます。

来年3月末をもちまして、いよいよJR三江線が廃止されます。惜しむ声も聞こえてきますが、時代の変化を見ればやむを得ないことと思う事もあります。今、人や物を運ぶ手段は鉄道から道路へと移行しています。この様な状況の中で本町を見ると、県道がJR三江線と江の川に挟まれ拡幅が出来なかった箇所や、離合が困難な踏切があり、大型車両の通行には大変不便な状況です。JR三江線が廃止となる今、道路改良の絶好の機会と考えるが県に対してどのように働きかけてゆかかを問うものでございます。また、現在川本大家線が落石により通行止めになっております。その影響で大呂農道へ回れない大型車両が、弓市地内の上の街を通っております。この交通量は、今までに比べ、たいへん多くなっております。そのことにより、高齢者の皆さんですね、それから登下校中の児童や生徒が、その大型車の離合の間に挟まれて動けないというような、非常に危険な場面がしばしばあります。本町の地形や地質を考えると、どこでも災害が起きる可能性があります。災害により道路が通行止めになると、またこのような状況になることが予想されます。町民の安全、安心を確保するためには、バイパス道路を設ける必要があると、私は考えますが町の考えを問うものでございます。以上でございます。

議 長

それでは、高良議員の質問「道路の整備計画を問う」に対する、答弁をお願い致します。番外宇山地域整備課長。

番外宇山地
域整備課長

失礼致します。それでは、高良議員の「道路の整備計画を問う」について、お答え致します。

JR三江線は、来年3月末での廃止が決定され、廃止後の鉄道資産の活用については本議会においても、先般開催された全員協議会においてその方向性が示されたところであります。鉄道に変わる代替交通はバスによる運行とされていることから、本町の鉄道資産の活用につきましては、美郷町との町境である竹地区の狭隘^{きょうあい}道路から上新町踏切までの路線が改良されるべきとの意見もありますが、本線は県道でありますので、この意見を踏まえ、地域を繋ぐこれからの公共交通の必要性の観点から、三江線代替交通に係る県道改良につきましては、県に対し強く要望をして参ります。

また、議員のご指摘にもありますが、災害、特に水害の対策としては、昭和47年の大水害以来、堤防や陸閘門^{りつこうもん}が整備され、水の流入は一定程度防ぐことは可能ですが、昭和47年同等の洪水が発生した場合において、町内が冠水し主要地方道が寸断されないとは言い切れません。国土交通省においては千年に一度の降雨に対し、避難等を含めて議論されていることから、災害発生時においては、島根県の東西を結ぶ幹線的な緊急輸送の観点から、寸

番外宇山地
域整備課長

断無く、緊急車両が確実に通行できる道路整備が必要不可欠であると考えております。

主要地方道川本波多線は、平成27年より、竹地区から対岸側をバイパスルートとする川本町「多田」から美郷町「港」間のトンネル整備が進められております。一方で、多田から国道261号線に繋がる川本工区「川本バイパス構想」につきましては、平成16年より計画が休止状態にあり、同線改良促進期成同盟会の計画においては、路線が記載されていない状態にあります。「川本バイパス」につきましては、今後は、鉄路に代わり、地域を繋ぐこれからの交通を維持する観点、また、県の東西を結ぶ幹線的な緊急輸送としての観点から、効率的・効果的な道路整備を図るため、本町「都市計画区域」を見直し、その計画を関係機関と協調して再起する必要があると考えております。以上でございます。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

考えておられるようですので、それをどうのこうのとは言いませんが、先ず今現在、県道でご承知のように別府川本、川本波多、それぞれいつも話に出ます日向地内、それから木路原・美郷の間、どうにもならん。或いは川本波多の今の街の中は家がありますからしょうがないにして、踏切の離合が難しいとか、いっぱい出ております。とうぜん、耳に入っている事ですので、是非やっていただきたい、いかなければならない事と思うんですが、三江線が無くなるという事はたいへん残念ではあるが、いつか言いましたがピンチをチャンスに。無くなるという事は、その土地の制約が1つ解除される事となります。今までは片方・江川、片方・三江線。三江線はトンネルの横の幅が要るので削られません、というような事もいろいろありました。道路線路敷きは構えないとか、いろいろありましたが、それが今回、決して良いとは思いませんが、そういう皆さんが不便な所、或いは危険な所、これは是非、改良していかないと私はいけないと思います。このバイパスの件もですが、度々、一般質問でもしておりますが、子どもの安全な通路、或いは高齢者の方が歩かれるに安全か。町長は先ほど、安心安全な町と言われますけれども、この間、雨の降った日ですが、私が車で走っておりましたら、郵便局の前の三叉路の信号機で、高齢者の方が傘を持って下にしゃがんでおられるんですよ。私は普通車で通りますから分かったんですが、それが大型車両になりますと、左側のアンダーミラー小さいの1個でしか見えませんので、非常に傘を持たれて座っておられると、非常に見えにくい。でもそういう状況があります。ちょっと前の一般質問にありましたが高齢者の方が休める所は出来ないかという一般質問をしたこともありますが、そういう方がちょいちょい居られます。今から皆さんご承知のように川本町高齢化、いくら若い人がこうやって社会人口が増えましても、若返っている訳ではありません。特に戦後20年来の以降の、いわゆる団塊の世代と言われる方が、もう10年も経つ

3番
高良議員

と皆さん、80前後ですね。まで、いかれます。そうすると道路をとうぜん、使うわけですから、そういう方が今のように杖を付かれるかどうか分かりません。或いは仮に車の運転も未だされているにしても、現在、余所ではアクセルとブレーキを踏み間違えましたというような、何とも痛ましい事故がおきております。そういう危険性というか、リスクを少しでも減らすためには、今一番必要なのは、そういう方々が安心して車の。田舎というのは皆さんご承知のようになかなか車を手放しては生活しにくいのが、現状です。その中で、この川本で住む為には、やっぱり道路を広くして、或いは本当は出来れば町内に歩道を設けるぐらいの事をしないといけないんですけども、それは条件的になかなか難しい事もあると思います。であればその次の手は何かというと、大型車両の交通量を減らす。通過車両はなるべく町内を通らないようにしていくというように私は考えていく事が必要だと思います。今、どういたしますか偶々、JRが無くなるという事はいろんな意味で物事を為す時は「天の利、地の利、人の利」、この3つが揃わないと出来ないよと言われるんですけども、地の利ですね地形的なもの、それが1つたがが外れるというか、自由になるものが出来てくる。或いは三江線が無くなるから川本はもう道路しか交通手段が無いんですよという県へに対しての訴えも出来る、そういう条件がいろいろ整う事だと思います。これを是非とも町長に陣頭に立っていただいて、安心安全なまちづくりの為には私はこれは、避けて通れない事だと思うのですが、ひとつ町長、これを陣頭に立って推し進めていって欲しい訳ですが、考えをひとつお聞かせ下さい。

議 長

番外三宅町長。

番外
三宅町長

高良議員からピンチをチャンスにと、三江線の廃止をチャンスにという事があります。確かにこの道路整備、いろんなところでまだまだ整備を必要とする場所があります。特に今、仰られました、町境の所、これらについてはもう来年、早速バスの代替交通で通る所でございまして、ここにつきましては、この一方でトンネル工事もありますが、やはり実際通る所はですね狭隘きょうあいの所だという事で、これについては県、そして県には当然、今いっておりますが、県、併せてJRの方にもこの拡幅する格好で申し出をしていきたいというふうに思っております。それから特に今、大型車が弓市地区に入ってきます。そういう事で子ども達の通学時における危険性な所がある訳でございますが、やはり長期的に見ましてやはりそうした歩道の整備等はしていく必要があると思います。議員が前から仰っておられます、この上新から木路原に向けての通学路整備、これはまさに県道沿いでございまして、これについても県の方に要請をしっかりとしていきたいと。併せて日向に向かっての道の拡幅でございます。これも今まで三江線が有るからという事で拡幅が出来ませんでした。こういう事で、こういう機会を捉えてしっかりと県の方に要請をしていきたいというふうに考えております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

是非、町長がこれは先頭に立って、私はやっていただかないと出来ない事だと思えます。県も予算で聞くところによると、なかなか潤沢の予算では無いようでなかなか苦しい話ばかり聞こえてきます。ですが川本町としては是非やらなきゃならない事だと私は思います。今、何と言いますか、運が良いと言いますか、今、県央県土の所長さんも川本の方です。部長さんも川本の方が居られます。非常にそういう意味では働きかけ易い時期だと思います。そういう事を考えて町の要望、これは必要な事ですから、時期を逸しないように是非とも早く働きかけていただいて、これをやって皆さんが安心安全に生活できるようにしていく事が、今から10年先の事を今からやっていかないと、なかなかじゃあ今日お願いして明日出来ますというものではありませんから、早めに動いてお陰でこういう繋がりのある人が居られる時にも早く動く必要が私はあるのではなかろうかと思えます。もう1点、人口増加を川本町は最大の目標としてやっております。定住住宅の建設、或いはいつかありましたインバウンド事業でどうのこうのという案もありましたが、どのみちこの道路というものを使って、また使わなければ生活できないのがこの田舎です。これはどうしてでもやる必要が、先ほどからも言いますがあると思えます。上杉鷹山うえすぎやうざんが、昔の人ですけれども、財政再建をした方ですけ『為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなり』という言葉がございます。そういう、これは本当にやる気でやったら出来ない事はないと、私は思っておりますので、是非とも何と言いますか、どうしてやり遂げるんだという気持ちでやって欲しいと思えます。この道路の状況が良くならないと、川本町は非常に条件が他町村に比べて悪くなります。人口問題は何かと言いますか、戦国時代の様相で、どの町村も田舎の町村は人の取り合いをしております。その限られた日本の人口が減っていくパイの中で取り合いをしておりますので、そこには生活しやすい所とか、いろいろ特色のある所とか、そういう何らかのメリットがある。平均的なインフラの整備が出来てインフラ率が上がっているような住みやすい所とかいろんな条件があると思えますが、そういう事を皆さん見て動かされております。動こうとする人は見て居られます。そういう事を含めて、この是非、道路が狭いんで車の運転が大変だというような事にならないように、或いは来られる方も住んでる方も、「いやあ今日はおぞい（←びっくり、ひやとした意）めをしたよ」っていうような話が無いように、やっていく事が行政の責任だと私は思います。そういう事を踏まえて是非ともこれはなるべく早くやっていく必要があると思えます。また、今日はツイッターとかSNSとか、そういう一度発信するとあらゆるところへ皆さん見られるという。その効果によって今からの経済の発展と言いますか、そういう大量情報発信システム、覗けるシステムによって、何がどうなるか分かりません。そうなった時に誰かが1つ良い事を考えたら、この川本もパッと売れるようになります。そういう時の為にも今そういうイ

3番
高良議員 インフラの整備というのは、先ほど言いましたが、直ぐには出来ませんのでなるべく早く、どういう事になった時にも対応出来るように前に進めていく必要が私は絶対に必要だと思います。今回は、この単純な本当に単純な事ですが、これは将来、必ず私は先ほどからずっと言いますように年寄り、子ども、ごめんなさい。高齢者とか子ども、我々生活者、それから経済の面、定住の面、あらゆる事でこれは道路を整備するという事は基本の基本だと思いますので、ひとつ町長の陣頭指揮の下、地域整備課長さんをはじめ、町職員の皆さんで是非とも成し遂げる必要があるという事を申し上げて、私の一般質問を終わります。

議 長 以上で、「道路の整備計画を問う」の質問を終了します。

々 これをもちまして、高良議員の一般質問を終了します。

々 以上をもって、本日の議事日程はすべて終了致しました。

々 本日は、これをもって散会と致します。
お疲れ様でした。

(午前11時51分)

この会議録は、川本町議会事務局長 櫻本 博志 が記載したもので、その内容におい

て、正確である旨を証するためここに署名をする。

川本町議会議長

川本町議会議員

川本町議会議員

